



ゆめりあ矯正歯科クリニック

磯野浩昭 院長

西武池袋線・大泉学園駅南口から徒歩1分。駅に直結している複合商業施設ゆめりあフェンテの1階に「ゆめりあ矯正歯科クリニック」はある。矯正歯科は定期来院が必要な性格のクリニックだが、駅近でショッピングなどの用事のついでに来院できるので、通いやすさは抜群だ。「治療期間が長い」「痛みを伴う」「器具が目立つ」といった従来の矯正治療に対するイメージの払拭と改善を積極的に行っているクリニックで、患者にストレスがかからない先端の治療材料や治療法を取り入れた治療をこだわりとしている。院長を務めるのは磯野浩昭先生。14年もの間、大学病院で研鑽を積んだ経験豊富な矯正歯科医師であり、日本矯正歯科学会が認定する認定医兼指導医である。その診療技術は言わずもがなであるが、物腰柔らかく明るく気さくな人柄も魅力で、何でも相談できるのがうれしい。クリニックの開院について、矯正歯科医師としての歩み、診療でのこだわりなどを磯野院長に聞いた。
(取材日2014年3月28日)

精度の高い治療を手軽に受けられる矯正歯科クリニック

開院はいつ頃でしょうか？

2003年です。今年で11年が過ぎました。矯正歯科というところ、歯科医療の中でも限定された分野ですから、開院当初は不安もありました。徐々に周辺地区にお住まいの方々にも認識され、今ではさまざまな患者さんに来院していただけるようになってうれしく感じています。

大泉学園で開院したのはなぜですか？

地元なんです。歯学部学生の頃からゆめりあは歯科医療を通して地域貢献をしたいと考えていましたので、開業するのであれば、やはり大泉学園でと決めていました。鶴見大学歯学部を卒業後、大学院を経て同大学歯学部付属病院で14年間の勤務をしました。その間に都市再開発が行われ、開院する頃には、この周辺の景色は私が実家に住んでいた頃とは一変していました。ですから、当初は初めての土地で開業するかのようない気持ちもありました。今振り返れば、地元の親しみやすさを感じつつも、常に気を引き締めて診療にあたってきたように思います。

矯正歯科の認定医・指導医である先生の経歴をお聞かせください。

まず、私が矯正歯科医師をめざしたのは、歯学部3年生のときに受けた矯正学の授業がきっかけです。講義内容は、極めて重度の不正咬合である患者さんの矯正治療でした。治療過程を映したスライド画像にて、美しく整った歯並びになっていく噛み合わせを目の当たりにし、矯正治療の効果に驚きました。また、

「矯正治療を受けたことで長年のコンプレックスが解消し、世の中がバラ色に見える」という患者さんのコメントが紹介されたり、「徐々に改善していく歯並びとともに、患者の気持ちや性格にも変化が見受けられるようになった」との教授の解説もあり、矯正治療は歯並びだけでなく、人の心もケアできる治療であることに感銘を受け、その時に自分が進むべき分野はこれだと確信しました。大学卒業後、国家試験を通過して大学病院の矯正学講座入局が許可された時、これより早く矯正治療の技術を身につけられるのだという期待感で一杯でした。というのは、歯学部の学生教育には矯正治療の実習がないため、大学を卒業しただけでは矯正治療の技術を習得することはできず、大学の矯正学講座などの専門機関に所属することで初めて技術を学ぶことができるからです。ようやくスターラインに立ったその後の私は、診療技術の習得に明け暮れました。患者さんに治療を行えるようになると、矯正学の知識をさらに深めるべく、大学院での研究もスタートさせました。日中は大学病院で患者さんの治療を、夕方から深夜にかけては研究室で研究を行うという多忙な毎日でしたが、この勤務と平行して大学院で4年間学んだことは、その後の私の矯正歯科医師としての人生に多大な影響を与えました。その後もしばらく大学病院で診療を続けていましたが、治療、矯正学の研究、論文の学会発表、歯学部の学生や後輩歯科医師の指導と一通り行ってきて、自分の中で一区切りついたと感じるようになり、タイミング的にも良い時期だったので大学病院を辞し、都内のクリニックを経て当クリニックを開院しました。

患者のライフスタイルに寄り添える治療をめざして

ゆめりあ矯正歯科クリニック

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-43-1-107

TEL:03-3925-1871

大泉学園駅 / 歯科 矯正歯科

DATA



ドクターズファイル

で

検索

—どのような患者さんが来院していますか？

割合としては小児矯正と一般矯正でちょうど半々くらいだと思います。小児矯正では、将来の歯並びを見据えた予防的矯正治療を行い、早期に機能的な噛み合わせの獲得を達成させます。一般矯正では、審美的改善を希望される方が大半なのですが、最近では女性ばかりでなく男性の患者さんも多くいらしていただいております。また、お子さんとお母様、またはお父様が一緒に矯正治療をお受けいただいているご家族様も何かいらつしやるのですよ。さらに、当クリニックは大病院の口腔外科と連携し、外科的矯正治療も実施しており、顎変形症、唇顎口蓋裂その他、矯正治療が保険適用となる先天異常を持った患者さんもいらつしやいます。

—クリニックで実施している矯正治療について教えてください。

矯正治療は歯に弱い力を加えて、人間の生体反応を利用して歯並びを整えていくという治療方法ですから、どうしてもある程度時間が必要となります。治療期間の問題で矯正治療を始めるか躊躇している方もいらつしやると思いますが、使用する材料や治療方法を工夫することで、治療効率を向上させることが可能で、当クリニックでは、矯正用インプラント、デーモンシステムやスーパーエクスプレス法といった、治療期間を短縮する治療法や、見た目を気にされる方のために、外から見えない裏側・舌側矯正、取り外し式のマウスピース矯正などの治療法も積極的に取り入れ、できる限り患者さん一人ひとりのライフスタイルに合わせた治療を心がけています。次に、小児矯正では、なるべく歯を抜かない治療を基本とし、歯を動かして整えるというよりも、

永久歯が正しい位置に生えてくるように促すことを重視しています。出っ歯や受け口の症状で来られるお子さんもそうです。上あごと下あごの差を調整したりするので、お子さんの成長を利用して骨格的差異を是正し、顔貌や機能改善を図っていきます。お子さんの骨格や噛み合わせがよくになると、食事がしやすくなり、発音にも改善が見られるようになります。また、永久歯になってから治療を始めるよりも、格段に抜歯の割合を減らすことができるのが小児矯正の特徴なので、乳歯がある小学生の早い時期から治療を始めることをおすすめしています。また、患者さんにとって気になる矯正の痛みについては、独自の治療法を用い、使用材料の工夫やレーザー治療を併用して痛みを軽減しています。

—先生の診療のこだわりをお聞かせください。

矯正治療は、歯に対して高い意識を持つ患者さんが受ける治療だと感じています。ですから、しっかりとご要望を共有して、一人ひとりが納得し満足できるように治療を常に心がけています。特に審美的な矯正治療においては、患者さんが求めるビジョンは千差万別ですので、私の所見に固執することなく患者さんとの向き合い、互いに話し合いながら最良となる治療計画を立てていきます。また、矯正は歯科治療の中でも通院期間が長い治療ですから、気軽に通えてリラックスして治療を受けられるような雰囲気づくりを大切にしています。患者さんにとって、病院に来るだけで緊張するというのはよくあることです。だから誰もがホッと息つけるようなクリニックをめざすことが私の一番のこだわりです。実際、患者さんへのアンケートで「楽しく通うことができた」との声を頂いたり、患者さんの「兄弟姉妹、ご両親、ご親戚をご紹介い

ただき、家族ともども治療をお任せくださることも多々あります。私が目指している姿が、そやあって少しでも形に残せたと感じるときはやはり嬉しいですね。

信頼の置けるクリニックとの出会いから、歯科医師の道へ

—歯科医師をめざしたきっかけをお聞かせください。

少々、恥ずかしい話となりますが、きっかけは歯科医院に通うのが大の苦手だったことです(笑)。小学生の頃から虫歯が多い子どもだったので、歯科医院へは幾度も通っていました。しかし、診てもらっていた先生を怖く感じたり、痛みが我慢できなかつたりで転院を繰り返し、ほとんどの治療が完了することなく放つたらかしの状態でした。しばらくして、高校生のある日のこと、あまりにひどい虫歯により口から副鼻腔まで貫通してしまい、治療に手術が必要な事態となってしまいました。さすがの私も慌ててある歯科医院を訪れたのですが、そこで転機が訪れます。先生は非常に温かな方で、近寄り難い雰囲気はまったく感じさせませんでした。緊張している私に対し、優しく丁寧に症状と治療について説明してくれ、今までの苦手意識が嘘のように感じるほどリラックスして治療を受けることができたのです。私にとって、驚くべきことだったと同時に、先生の人柄や治療にあたる姿に感銘を受けました。そして、尊敬の念と憧れを抱き、いつの間にか歯科医師をめざしたいと思うようになったというわけです。矯正歯科医師となり、診療分野は異なりますが、今でも私の理想とする歯科医師像は当時の先生です。

—そんな先生は、休日はどうのようにリフレッシュしていますか？

山登りでしょうか。妹の影響で30代から始めて以来、毎年一度は仲間と集って日本アルプスへ出かけています。仕事柄、神経を使いますので、山へ登り、自然の雄大な景色を楽しむことは、とても良い息抜きになっています。あとは、趣味とは言えませんが、地元の消防団に所属していて、休日や早朝・夜間などの空いた時間に防災活動や訓練を行っています。地元の方々と交流する中で、少しでも地域のお役に立てればと思っていた矢先にお話をいただき、入団致しました。私が所属する分団は、消防団の大会で数々の優秀な成績を収めてきたチームなので、諸先輩方からは高いレベルの訓練を受けることができ、今年開催された大会では昨年に引き続き準優勝の結果を得ました。訓練が結構ハードなので、仕事で身体を動かさない毎日でも運動不足にならずにすんでいます(笑)。

—最後に『ドクターズ・ファイル』の読者にメッセージをお願いします。

安心できる矯正歯科クリニックかどうかを見分けるポイントは、ドクターが患者さんと誠実に向き合っているかどうかを見ることだと私は思います。診療技術がしっかりしているのはもちろんですが、要望や疑問に対して真摯に応えてくれるなど、コミュニケーションを大切にしてくれる先生がいるクリニックであれば、きつと満足する治療を受けられるのではないのでしょうか。当クリニックも患者さん一人ひとりに満足してもらえ、誰もが心から笑顔になれるようなクリニックを全力でめざしています。矯正治療はまだまだ敷居が高い治療と感じている方もまだまだいらつしやると思いますが、もし、歯並びなどで心配事があれば、相談だけでも構いませんので、ぜひ気軽にお越しください。

Doctor's File

ドクターズ・ファイル

